

各競技における参加に関する補足説明(オープン参加関連)

【ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、ペタンク】

- ・ 上記6種目においては、オープン参加採用なし（競技要領のとおり）

【バレーボール】

- ・ オープン参加を採用する。
 - ※ 他学区から選手を追加して参加することができる。ただし、選手は安佐北区在住に限る。また、追加する選手は各チーム2～3名（要相談）とし、普段から一緒に練習していることを条件とする。
 - ※ 組合せは広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに出場できるゾーンと別とし、広島市スポーツレクリエーションフェスティバルに出場できない。

【卓球】

- ・ 正規参加；混合ダブルス5組（110↑、100↑、90↑、80↑、不問）
 - 最低、混合3ダブルス（6人）で参加が可能ですが、1組棄権の場合は、110↑を、2組棄権の場合は110↑と90↑を棄権とする。
 - ※ 必須の混合ダブルスが組めない場合はオープン参加とする。
 - ※ 安佐北区内で合同チームを組むことができる。
 - オープン参加（合同又は単一学区）チームが、予選リーグにて2位以上の場合でもリーグの最下位とし、Bゾーントーナメントに進む。

【ソフトテニス】

- ・ 正規参加；男子5人、女子5人（男ダブ2、女ダブ2、混成1）
 - 最低3ダブルス（6人）でゲームが成立する
 - 男ダブ・女ダブ・混成が1組ずつあれば決勝Tへあがれる。
 - ※ 指定の3ダブルスが揃っていない場合は、予選は0点（決勝Tへあがれない→単一学区オープン参加）
 - ※ 安佐北区内で合同チームを組むことが出来る。（決勝Tへあがれない→合同オープン参加）

【バドミントン】

- ・ 正規参加；男子5人、女子5人（男ダブ2、女ダブ2、混成1）
 - ※ 男子4人、女子4人で参加できる（決勝Tへあがれない→単一学区オープン参加）
 - ※ 安佐北区内で合同チームを組むことが出来る。（決勝Tへあがれない→合同オープン参加）

【剣道】

- ・ 団体戦正規参加；先鋒1人（小1～4年）、中堅1人（小5・6年）、大将1人（中学生）の3人
 - ※ 1学区のみでチーム編成出来ない学区に限り、安佐北区内他学区との混成チームを認める。この場合いずれか代表の学区で出場とのこと。